

2015～2016年度

Weekly Report



世界へのプレゼントになろう



【真岡市 中村八幡宮例大祭 流鎧馬】

2015. 12. 10 NO. 2779

国際ロータリークラブ会長テーマ 「世界へのプレゼントになろう」

真岡ロータリークラブ会長テーマ 「入りて学び 出でて奉仕せよ」

国際ロータリー第2550地区

真岡ロータリークラブ 会長 田村 浩次

- 司会 SAA 中川 宏行君
- 点鐘 会長 田村 浩次君
- ロータリーソング それでこそロータリー
- お客様 米山奨学生 チュア チー シェン君

■会長挨拶 会長 田村 浩次君

皆さんこんにちは。いよいよ寒い冬を向かえる季節となりました。今年も余すところ3週間となり、仕事も日々忙しさを増す時期と思います。

当クラブの事業も今年は来週17日の忘年クリスマス家族例会を残すのみとなります。あらためて今年度前半のロータリー事業、奉仕事業の実施にあたり会員皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

今年の会長方針を「入りて学び、出でて奉仕せよ」のスローガンとし、自分を磨くとするテーマを基に、ロータリークラブの活動の意義、ロータリアンとして何が求められ、どうあるべきかと自分の中で整理できるよう心がけてきました。

まだ入会して10年未満の活動歴の中で、今感じることがあります。ロータリーのメンバーは異なる職業を持



ち、それぞれの世界で活躍しています。そういう方々の集まりなので、例会における出会い、会話そして親睦の中で自分達が培ってきた職業常識との違いを感じる事ができ、多種多様な考え方があることに気付くことができます。この様な体験ができるロータリークラブは、まさに人間教育を実践する素晴らしい環境を提供してくれると思います。

今日の例会では新入会員の馬場さん、青木さんの卓話があります。職業、経歴や人生経験などいろいろなテーマでの卓話を聞くことで、我々はその人となりを知ることを楽しみとし、さらにお二人には聞く人に感動を与える熱い卓話をして下さることを期待します。

月曜日

宇都宮90⇒東武ホテルグランデ
小山中央⇒思 水 荘

火曜日

真岡西⇒フォーシーズン静風
宇都宮⇒東武ホテルグランデ
宇都宮東⇒ホテルニューイタヤ

水曜日

益子⇒益子カントリー
しもつけ⇒石橋商工会館

木曜日

宇都宮西⇒東武ホテルグランデ
宇都宮北⇒宇都宮グランドホテル

金曜日

小山東⇒ウイ・テ・マリアージュ

会長 田村浩次 幹事 久保康夫 会報委員 (市村忠男・柳田尚宏・坂本光・太田浩彰・渡邊佳寛)

事務局

〒321-4305 栃木県真岡市荒町1203(商工会館内)

TEL 0285-84-2511 FAX 0285-84-2510

e-mail:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

■新入会員卓話

「私ヒストリー」

青木 圭太君



私は生まれて35年間真岡市に住んでいます。真岡工業高校を卒業し、宇都宮市にある帝京大学電気電子システム工学科に進学しました。進学後、父の会社青木製作所で週1日のアルバイトを始め、その後毎日会社に来るよう言われ、大学に行くことができなかつたので3年で中退することになりました。

20歳で入社した会社は、当時、両親、祖父、従業員一人と私の五人で、真岡市高田にありました。金属加工業でしたが、入社当時は工場の機械のオーバーホール、土・日曜日にシリンダーをはずして分解し修理していました。父からは厳しい指導があり、徐々に私しかできない仕事を任せられるようになり、毎日朝から夜中まで働いていました。

その後、機械が進化し、NCプログラムを使う方式に変わり、父から新プログラムへの対応を命じられ、新しい機械を買ってもらい、説明書を読みながら会社に泊まって研究していました。結果、機械操作に強くなりました。従業員も増え、仕事が楽しくなっていました。

24歳の時結婚し、二人の子供に恵まれ幸せな生活でした。会社も従業員が20人程に増え、売上も約2億円に増え会社と言えるようになりました。会社が順調で調子に乗っていたため、周囲からいろいろ言われるようになりました。

リーマンショック後、自動車業界が厳しくなって、私の会社も非常に厳しい状態に直面し、初めて営業の大切さを学びました。それまでは依頼のあった仕事をこなすだけで十分忙しく、いい時期でした。リーマンショック後、仕事が皆無に近い時期もあり、パート従業員に辞めてもらう辛い決断もしました。2か月後には営業に力を入れ、多くの先輩に助けられ、徐々に受注も増え、受注した仕事をこなすため、従業員に毎日夜中まで残業させることが多くなり、間もなく社員から猛反発を受け、数か月後には社員との関係が険悪になり謝りました。父も社員側に回ったことはショックでした。

リーマンショックのような状況になっても耐えられる会社を作りたいと一生懸命だったのですが裏目に出してしまいました。社員の気持ちを考えず突っ走ったと反省しました。

その後考えたことは、社員に負担を掛けないようにではなく、社員全員が辞めても会社が潰れないようにするにはどうしたらいいかでした。

従来の体制は、受注した仕事を会社内でこなし、できない部分を外注していました。が、受注したものを先ずすべて協力会社に外注し、営業利益を得、協力会社の出来る範囲を

超えた部分を自分の会社でこなす方法に変えました。残ったものは難しい、利益が低いものが多いのですが、仕事量が減って社員は喜んで仕事をしてくれました。協力会社を求め、朝早くから各会社を訪問しました。協力会社は、継続的に仕事があるため、積極的に対応してくれるようになり、外注は60~70%になりました。

結果、自分の会社で難しい仕事、単価の安い仕事をするようになっても利益を上げなくてはならない中、社員が率先して利益を出そうとし、難しい仕事に挑戦しようという雰囲気生まれました。協力会社も比較的簡単な仕事がもらえるので積極的に対応してくれるようになりました。多くの方の協力もあり売上が増えていきました。

その頃、会社と自宅の往復に物足りなさを感じ、地域貢献できるものはないかと考えました。

5年前、中国に工場を作ろうと考え中国に行きました。その時、高等学校に行き20人程面接し、その時将来何になりたいか聞いたところ多くの人が社長になりたいと言っていました。その中の二人を研修生として受け入れました。研修生を受け入れたことで社員にも刺激になりました。日本で会社に面接に来る人に「将来何になりたい」と聞いても「特にない」という返事が多く、中国での印象が強くあり危機感を持ちました。

どうしたら将来社長になりたいという学生が増えるかを考えました。

2年前、アントレプレナー(起業家)コンテストという企画を個人で実行しました。今年で3回目になります。日本の子供たちに起業するチャンスを与えたいと考え始めました。栃木県内の高校生、専門学校生、大学生を対象に簡単なビジネスプランを提出してもらい、一次審査、二次審査をしたうえでグランプリになった人を実際に社長にすることが目的です。昨年、一昨年と一人ずつ高校生社長を誕生させました。一昨年グランプリをとった人の企画を当社が協力して、ようやくスタートする段階に入りました。来年2月に発表する場がありますので、興味のある人は是非見に来てください。

■新入会員卓話

「葬祭会館の現況」

馬場 照夫君

真岡ロータリークラブの会員となって、早いもので6か月を迎えますが、これまでの皆様方のご指導に対しまして、心から感謝申し上げます。

私は、真岡市役所に42年間、真岡鐵道に4年間勤務し、今年6月からフォーシーズン静風内にあります「静風グループ」の総務担当として勤めております。

ロータリー会員としては静風グループの株式会社アルーテの社員として参加させていただいております。

本日は「葬祭会館の現況」について話させていただきありがとうございます。人間はいつかは必ず死ぬことから、3年前の流行語大賞トップテンに選ばれた「終活」を考え、「安心して余生を過ごす」という意識が高まってきております。



葬祭業は、「今、大きな転換期の中にある」と言われております。都市化や核家族化等の進行により、自宅葬から会館葬に変わってきたことであります。会館葬が普及する前は、寺や自宅での葬儀が多く、組内の皆様が葬儀を準備し、地域のコミュニティとしても成り立っていました。

業界誌「フューナラルビジネス」によれば、葬祭会館は昭和35年頃最初に創られ、当時は全国で数か所しかなく珍しい存在であったとあります。昭和55年以降、冠婚葬祭互助会を中心に広まり、福岡市、北九州市、札幌市等で普及し、全国に波及していきました。

葬祭会館としては、火葬場あるいは斎場付設の式場、寺内に設置された葬儀・法事用施設、自治体が設置する貸付型の葬儀会館と葬祭業者が設ける葬祭会館の主に4種類があります。最も多いのは葬祭業者が設ける葬祭会館であります。平成8年頃から葬祭会館が急激に普及し、平成25年末時点で全国に7473か所、県内に225か所まで増えてきております。都道府県別で見ますと最も多いのは福岡県440か所、愛知県427か所、大阪府343か所と続いています。

厚生労働省の人口動態統計により、平成25年は総人口の1%約127万人が死亡し、一葬祭会館の平均葬儀件数は168件となります。都道府県別で見ますと東京都が360件、青森県333件、沖縄県325件と続き、一会館当たりの葬儀取扱件数の多い地域と言えます。県内は約26,000人が死亡し、一会館当たりの平均葬儀取扱件数91件と全国で最も少ない地域であります。

総務省統計局の人口推計によりますと、今後の死亡者数は、2040年がピークとなり全国で約167万人になると予想されています。

過去の年間死亡者数は、昭和30年以降は70万人前後で推移し、昭和50年代後半から増加傾向となり、平成2年以降は80万人台、平成7年以降は90万人台、平成15年から100万人を超え、平成23年以降は120万人台となっています。内、75歳以上の高齢者の死亡者数は昭和50年代後半から増加し、平成24年からは7割を超える状況にあります。

近年の特徴的な葬儀形態として、核家族化や少子化の進行、葬儀に対する意識の変化等により、来てもらいたい人にだけ案内する「家族葬」があります。また、通夜、告別式を省略して火葬のみ行う「直葬」も現れています。雲上においても去る10月から家族葬ホール「桜庵」をオープンさせたところです。

芳賀地区広域行政事務組合斎場は昭和53年に建築されたもので、県内では最も古い施設となっています。同組

合において、施設の老朽化、待合室が手狭なことから、増加する火葬需要に対処するため斎場の建て替えを計画し、新斎場再整備基本構想の策定に取り組まれています。この基本構想を策定する中で、新斎場の施設整備基本方針、火葬需要の予測、必要炉数、施設機能、整備手法の検討がされています。

葬祭事業者を取り巻く環境は、消費者意識やライフスタイルの変化に伴い、家族葬や小規模葬の比率が高まり、消費者ニーズを的確に捉え、変化する時代背景にマッチした事業運営が求められています。どの業種においても、同様に時代に即応した事業運営は最も重要なものとなっています。

■幹事報告 幹事 久保 康夫 君



- ・ ガバナー月信12月号、10月の出席率を見て下さい。
- ・ 広島・三原RCから送られた義援金 水海道RC経由で常総市に寄付。16日、会長・幹事が持参。
- ・ 第5回日台ロータリー親善会議の案内 2016年6月5日、金沢市で開催。

■本日のスマイルボックス 見目 良一 君 柳澤 正弘 君

田村浩次会長

今日の新入会員卓話、馬場さん、青木さん楽しみにしておりました。卓話をいただくまでの日数がかかって申し訳ありませんでした。

久保康夫幹事

馬場さん、青木さん、卓話ありがとうございます。当会場での本年最後の例会となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

岡本俊夫君

馬場、青木両君の卓話、心して拝聴させていただきます。今日現在、30数名のメンバーが例会出席100%を継続中です。会長、幹事、石井委員長代行共々御礼申し上げます。寒くなりました。御自愛下さい。

杉田貞一郎君

青木会員、馬場会員、卓話ご苦労様です。
楽しく聞かせていただきます。

市村忠男君

先週は妻の誕生日祝ありがとうございました。
朝晩寒さが厳しくなってきました。体調にご留意下さい。
馬場さん、青木さん、卓話楽しみにしています。

三澤幸光君

真岡随筆クラブに岡本PP、渡邊さんの御力を得て、
新しい会員の加入が多くあり、今後の活力に期待を
感じています。

青木さん、馬場さん、卓話ご苦労様です。

齊藤敏彦君

馬場さん、青木さん、卓話ご苦労様です。
ゆっくり聞かせていただきます。

金子正男君

青木、馬場両会員の卓話拝聴させていただきます。
次々年度はよろしくお願い致します。

豊田光弘君

青木さん、馬場さん、卓話ご苦労様です。
じっくり聞かせていただきます。頑張ってください。

柳澤正弘君

青木様、馬場様、本日の卓話よろしくお願いいたします。
楽しみにしております。

平石典嗣君

青木くん、馬場さん、卓話ご苦労様でございます。
師走、連日連夜の忘年会が続きます。皆様、お体に
気を付けてお過ごし下さい。

馬場照夫君

新入会員卓話の機会となりましたが、何分、不慣れで
ありますので、よろしくお願いいたします。

■委員会報告



●親睦活動委員会 委員長 豊田 光弘君

- ・ 17日の忘年クリスマス家族例会に100名超の
申し込みをいただきありがとうございました。
- ・ 新年例会 1月7日18時30分
フォーシーズン静風

●青少年奉仕委員会 委員長 大越 正和君

- ・ 1月9日、10日のサッカー大会への参加協力、
並びに懇親会での商品提供よろしくお願いいたします。



■米山奨学金授与 チュア チー シェン君



■出席報告

委員長代行 石井 誠 君



ガバナー月信12月号に10月の出席率が掲載されています。出席率96.45%県内1番となっています。現在、総合同率3番と高率を維持しています。ご協力に感謝します。

青木会員の体当たり経営、馬場会員のデータに基づいた終活ビジネスの現状とレポート大変勉強になりました。

■ 12月10日までのスマイルボックス

前回までのスマイル繰越金	1,220,300
会員	32,000
ビジター	0
合計	32,000
累計	1,252,300
前回までの米山繰越金	26,024
米 山	0
累計	26,024
前回までのその他繰越金	0
その他	0
累計	0
合計金額	1,278,324

■ 12月10日のお食事



■ 本日のプログラム

12月17日(木)
忘年クリスマス家族例会
フォーシーズン静風
18時30分開始

■ 次回のプログラム

平成28年1月7日
新年例会
フォーシーズン静風
18時30分開始

■ 月間予定

1月																								2月											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
			新年例会		サッカー大会					月初例会							外部卓話							内部卓話											月初例会

■ 出席報告

在籍52名	出席免除3名(資格者2名 + 有理由者1名)[12月3日より免除者4・有資格者2・有理由者2]						
例会日	出席義務	事前MU	事後MU	出席	欠席	出席率	本年度累計出席率
補正後11月26日	49	1	3	40(1)	6	88.00%	
12月10日	48	4		38	6	87.50%	
6月出席率	7月出席率	8月出席率	9月出席率	10月出席率	11月出席率	12月出席率	1月出席率
84.74%	97.52%	96.73%	92.00%	96.45%	92.05%		

※出席数の()は出席免除者の出席を表す